



ヘビのうんちとおしっこは、どんなものなの

うんちは、においもないカス

ヘビのうんちは、めったに出できません。ヘビは、ニワトリなどのえさをのみこむと、1~2週間かかってじっくり消化するので、うんちは、その後で出てくるのです。大きいえさを飲みこんだ場合は、えさが消化されるのに1か月以上もかかることがあり、ふんもその間は出てきません。じっくり消化し、栄養分を、とことん体に吸収しつくしたカスが、うんちになります。そのため、うんちはにおいもなく、水分も少なく、排せつされて、少したつと、かわいた土くれのようになります。

ヘビは米を食べると思われていた

ヘビの体は、ネズミやニワトリなどを消化しますが、米やトウモロコシなどは消化できません。米をたくさん食べたネズミや、トウモロコシを食べたばかりのニワトリを丸のみすると、ヘビのふんの中には、米やトウモロコシがそのまま出てきます。このため、ヘビは、米を食べると、かんちがいされていたことがあったようです。

ヘビは、100グラムのネズミをのみこめば、体重が100グラムふえるほど、えさの吸収がよく、ニシキヘビなどは、1年間で、元の20倍もの体重になります。

ヘビのおしっこは、白い液

ヘビのおしっこは、排せつされたばかりのときは、乳液のような感じですが、でも、すぐかわいて、白ぼくのような白いかたまりになってしまいます。このかたまりで、黒板に字が書けるくらい、白ぼくにそっくりです。これは、ニワトリのふんの中の、白い部分と同じです。うんちと同じあなから、おしっこも出てきます。(監修・杉浦 宏)

